

科学研究費補助金事業（基盤研究22K00483「ハーンにおける神話・民話・伝承についての総合的研究—旧蔵書書込調査を基盤として」）

学術講演会

八雲＝ハーンの眼と耳、その〈痛苦反転〉の文化力 ——アイルランドと出雲——

桑島 秀樹

広島大学大学院人間社会科学研究科教授

日時：2023年7月7日（金）14：45～16：15

場所：富山大学人文学部3階第6講義室

聴講無料・Zoomによるライブ配信を行います。

まずは、ラフカディオ・ハーンによる『知られざる日本の面影』所収のエッセイ「日本海の浜辺にて（By the Japanese Sea）」を引きつつ、そこに彼の視覚と聴覚のダイナミズム、より正確に言えば、聴覚優位の夢想に傾きつつ、色彩が漸次的に変化する類比的なイメージ思考を説明する。

これを踏まえたうえで、さらに、ハーンの「かそけきもの」を聴く感性、あるいは、出雲的な神話観への感応という事実を、18世紀の「崇高美学の祖」アイルランド人エドモンド・バークの「崇高」概念にみられる「痛苦反転」の思考と重ね合わせて語る（「文化力」としての現代的意義にも言及）。

これらを論じるのなか、拙著『生と死のケルト美学：アイルランド映画に読むヨーロッパ文化の古層』（法政大学出版局、2016年。第14回木村重信民族芸術学会賞）において、アイルランド映画分析をギミックに析出した、アイルランド／ケルト的な「感性のかたち」としての「メタモルフォーゼの美学」「インターフェイスの存在論」という思考型のおもしろさにも触れてみたい。（講師からの概要説明）

*本講演会はZoomによるライブ配信を行います。オンライン聴講を希望される方は、7月6日（木）までに、下記連絡先までご連絡ください。7月6日（木）にミーティングアドレス等メールにて連絡させていただきます。

*現地で対面参加の方は予約なしで直接会場において下さい。

連絡先：富山大学人文学部中島研究室（toshie@hmt.u-toyama.ac.jp）